

株主の皆様へ

第2期事業報告書

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)



JFE

JFEグループは
常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

JFE ホールディングス 株式会社

平素は、株主の皆様には、一方ならぬご支援をいただきまして、誠に有難く心から御礼申し上げます。

さて、当社は、平成16年3月31日をもちまして、第2期の決算期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

●当期のグループ業績

JFEグループは、平成14年9月の発足以来、持株会社である当社のもと、事業分野毎の特性に応じた最適な業務執行体制の構築をめざして再編を進め、昨年4月「JFEスチール株式会社」「JFEエンジニアリング株式会社」「JFE都市開発株式会社」「川崎マイクロエレクトロニクス株式会社」および「JFE技研株式会社」の5つの事業会社を分割再編により発足させ、新たな企業集団としてスタートを切りました。同時に、事業会社傘下のグループ会社につきましても、統合効果の早期実現をめざし、各事業分野において、各社の機能分担を明確にしたうえで、積極的に再編・統合を進めてまいりました。

「JFEグループ」の新たなスタートとなった当期のわが国経済は、世界経済の回復を背景とした輸出が好調であることに加え、国内においても設備投資の増加や個人消費の持ち直し等、緩やかな回復基調が続きました。



会長 江本寛治



社長 下垣内洋一

代表取締役会長
(Co-CEO)

江本寛治

代表取締役社長
(Co-CEO)

下垣内洋一

このような経済環境のなか、当社はグループの戦略機能を担う持株会社として、事業会社と一体となって第1次中期経営計画を遂行することにより統合効果を最大限に発揮できるよう取り組み、グループ全体での収益基盤の確立に向け、着実にその成果を上げてまいりました。

事業会社各社におきましては、それぞれの事業の特性と環境に応じた活動を展開してまいりました。

〈JFEスチール株式会社の業績〉

JFEスチール株式会社は、統合後の最適生産体制の確立、生産コストの更なる低減に加え、海外鉄鋼会社との戦略的提携関係を活用した輸出拡大を図ることにより、収益性の向上に努めてまいりました。

その結果、当期の生産量は、建設向けが公共投資削減を受け減少しているものの、自動車、建設産業機械および造船を中心とする国内製造業向けに加え、輸出についても自動車、電機向けを中心として好調に推移し、連結粗鋼生産量は3,055万トンとなりました。売上高につきましては、高付加価値製品比率の上昇を含め鋼材価格の改善が進んでおりますことから、連結売上高は2兆1,039億円となりました。営業利益につきましては、原料価格の上昇や減価償却方法の変更等による償却負担の増加はあるものの、販売価格の改善、統合に伴う設備統廃合による生産性の向上、技術融合の成果等による大幅なコスト削減に加え、傘下グループ会社における再編による効果や収益基盤強化に向けた施策が寄与し、連結営業利益は2,427億円に達しました。

〈JFEエンジニアリング株式会社の業績〉

JFEエンジニアリング株式会社は、コスト削減はもとより新規商品の販売拡大等に取り組んでまいりました。しかしながら環境部門をはじめとする事業環境悪化の影響等により、連結受注高は3,380億円、連結売上高は3,394億円、また連結営業利益は31億円となりました。

〈その他の事業会社の業績〉

JFE都市開発株式会社は、大規模社有地開発を着実に推進するとともに、首都圏を中心とする分譲マンション事業を展開してまいりました。その結果、連結売上高は262億円、連結営業利益は14億円となりました。

川崎マイクロエレクトロニクス株式会社は、デジタル家電向け製品の販売が好調であったことから、連結売上高は404億円、連結営業利益は49億円となりました。

JFE技研株式会社は、主としてJFEスチール株式会社およびJFEエンジニアリング株式会社からの各種受託研究および次世代技術に関する研究開発に積極的に取り組んでまいりました。

〈当社連結決算の状況〉

以上の結果、当社単体業績等と合わせ、当期における連結売上高は2兆4,737億円、連結営業利益は2,536億円、連結経常利益は2,183億円、連結当期純利益は1,068億円となりました。

なお、連結での借入金・社債残高につきましては、前期に比べ2,197億円減少し、1兆8,374億円となりました。

●当社単体の業績

当社は、事業会社5社より計50億円を経営管理料として受け取りました。またJFEスチール株式会社およびJFEエンジニアリング株式会社より受取配当金として計240億円を受領いたしました。

その結果、当期の当社の営業利益は241億円、経常利益は240億円、当期純利益は248億円となりました。

なお、当期の利益配当につきましては、本年度の業績および内部留保の状況等を勘案し、1株当たり30円で株主総会におはかりし、ご承認いただきました。

●対処すべき課題

今後のわが国経済は、為替レートの動向等から不透明な要素はあるものの、世界経済が回復する中で、景気回復が続くものと見込まれます。

このような状況のもとでJFEグループは、第1次中期経営計

画を着実に遂行し、更なる収益の拡大はもとより、いかなる変化にも機敏に対応できる企業体質をもとに、将来にわたり成長していくための強靱な経営基盤を構築してまいります。

各事業会社におきましては、事業の特性に応じた諸施策を展開してまいります。

JFEスチール株式会社におきましては、どのような事業環境下においても安定した高収益を確保するために、品種セクター制による事業戦略の策定と品種毎の収益管理を通じて、オンリーワン・ナンバーワン商品の開発や設備稼働率向上等を図ってまいります。また海外戦略につきましても、中長期的な視野に立ち、パートナーとの間で互いにとってメリットを享受できる関係を構築してまいります。さらにグループ会社につきましても、より一層の収益力向上を図ってまいります。

JFEエンジニアリング株式会社におきましては、既存事業については、事業規模に見合った固定費の見直しを含め、グループ全体の最適体制の確立による収益力の向上を図ってまいります。さらに、市場のニーズを的確に把握し、新規事業の立上げおよび新規商品の市場投入を加速させるほか、海外案件への営業力強化などにより、連結での収益最大化を図ってまいります。

JFE都市開発株式会社におきましては、大規模社有地開発である「横浜山の内開発プロジェクト」において超高層マンションの着工および第1期販売活動を開始するとともに、首都圏を中心に高品質で独自性の高い分譲マンション事業に引き続き取り組んでまいります。

川崎マイクロエレクトロニクス株式会社におきましては、国内向けおよび台湾をはじめとするアジア向けのデジタル家電用ASIC（特定用途向け集積回路）の売上拡大を引き続き図っていくことに加え、中東や欧州など新たなマーケットの開拓をすすめてまいります。

JFE技研株式会社におきましては、主としてJFEスチール株式会社およびJFEエンジニアリング株式会社からの共通技術分野の受託研究の早期完遂を通じてグループの収益向上に貢献するとともに、将来を担いうる次世代技術の開発に取り組んでまいります。

このようにグループの経営課題を着実に実行していくため当

社は、持株会社として経営管理機能の役割を一層充実させ、グループ価値の最大化に貢献してまいります。

さらに環境保全につきましても、引き続き万全の対策を講じるとともに、企業に要請されている社会的責任の遂行をめざして、広く社会の理解と共感を得る企業活動を推進してまいります。

JFEグループは、これらの施策を通じて一層の競争力強化に努め、21世紀のエクセレントカンパニー集団として更なる発展を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●決算期後に生じた重要な事実

当社は、主に鉄鋼事業の設備投資、投融資、研究開発、借入金の返済および社債の償還ならびにその他一般の事業資金に充当することを目的として、欧州を中心とする海外市場（但し、米国を除く。）において、2009年満期円貨建保証付転換社債型新株予約権付社債（発行総額1,000億円・転換価額3,465円）を本年6月14日付で発行いたしました。

会社概要

(平成16年3月31日現在)

- 名 称(商号) JFE(ジェイ エフ イー)ホールディングス株式会社
【英文名称：JFE Holdings, Inc.】
- 本店所在地 東京都千代田区丸の内一丁目1番2号 〒100-0005
電話 03(3217)4049 (代表)
- 設 立 平成14年9月27日
- 主要な事業内容 鉄鋼事業、エンジニアリング事業をはじめとする事業会社の株式を所有することによる当該会社の支配・管理
- 資 本 金 1,000億円
- 従 業 員 数 118名
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所
株式会社大阪証券取引所
株式会社名古屋証券取引所

●取締役および監査役

取締役

代表取締役会長 江 本 寛 治
代表取締役社長 下垣内 洋 一
代表取締役 大 谷 長
代表取締役 宮 崎 徹 夫
取 締 役 數 土 文 夫
取 締 役 土 手 重 治

監査役

監査役(常勤) 佐 栞 慎 二
監査役(常勤) 林 建 夫
監 査 役 田 代 有 嗣
監 査 役 西之原 敏 州

(注) 監査役田代有嗣および西之原敏州の両氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

●執行役員

会 長 江 本 寛 治 Co-CEO (共同最高経営責任者)
社 長 下垣内 洋 一 Co-CEO (共同最高経営責任者)
副社長 大 谷 長 総務・法務部門、企画部門、環境ソリューションセンターおよびDMEプロジェクトの統括
副社長 宮 崎 徹 夫 財務・IR部門、経理部門の統括
専 務 金 澤 一 輝 環境ソリューションセンター長およびDMEプロジェクトの担当
専 務 南波佐間 義 之 総務・法務部門長
専 務 山 崎 敏 邦 経理部門長
専 務 斎 藤 脩 企画部門長
常 務 林 田 英 治 財務・IR部門長

JFEホールディングス 財務諸表 (連結)

●連結貸借対照表 (要旨)

(平成16年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	1,104,803	流動負債	1,324,298
現金及び預金	77,388	支払手形及び買掛金	463,714
受取手形及び売掛金	447,315	短期借入金	444,033
棚卸資産	457,493	一年内償還社債	70,500
繰延税金資産	40,204	その他	346,051
その他	84,077	固定負債	1,619,785
貸倒引当金	△ 1,676	社 債	481,000
固定資産	2,619,632	長期借入金	841,871
有形固定資産	2,013,638	退職給付引当金	130,795
建物及び構築物	540,826	特別修繕引当金	51,002
機械装置及び運搬具	825,507	その他	115,116
土地	591,532	負債合計	2,944,084
建設仮勘定	35,052		
その他	20,719	(少数株主持分)	
無形固定資産	61,431	少数株主持分	34,058
投資その他の資産	544,562	(資本の部)	
投資有価証券	357,645	資本金	100,000
繰延税金資産	77,429	資本剰余金	600,497
その他	133,330	利益剰余金	53,558
貸倒引当金	△ 23,842	土地再評価差額金	16,273
繰延資産	5	その他有価証券評価差額金	35,623
		為替換算調整勘定	△ 52,304
		自己株式	△ 7,349
		資本合計	746,298
資産合計	3,724,441	負債、少数株主持分及び資本合計	3,724,441

●連結損益計算書 (要旨)

(自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日)

科 目	金 額
(経常損益の部)	百万円
営業損益の部	
売上高	2,473,725
営業費用	2,220,119
営業利益	253,605
営業外損益の部	
営業外収益	45,169
営業外費用	80,402
経常利益	218,372
(特別損益の部)	
特別利益	3,611
特別損失	35,562
税金等調整前当期純利益	186,422
法人税、住民税及び事業税	23,721
法人税等調整額(損)	53,532
少数株主利益	2,296
当期純利益	106,872

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日)

科 目	金 額
	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,068
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 229,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,857
現金及び現金同等物の減少額	△ 11,107
現金及び現金同等物の期首残高	87,304
連結範囲の変更等による増減額	980
現金及び現金同等物の期末残高	77,178

●事業の種類別セグメント情報

(自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日)

	鉄鋼事業	エンジニアリング事業	都市開発事業	L S I事業	計	消去又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外部顧客に対する売上高	2,077,832	331,237	24,167	40,488	2,473,725	—	2,473,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,089	8,207	2,070	—	36,368	△ 36,368	—
売上高計	2,103,921	339,445	26,238	40,488	2,510,093	△ 36,368	2,473,725
営業費用	1,861,201	336,297	24,741	35,520	2,257,760	△ 37,640	2,220,119
営業利益	242,720	3,147	1,496	4,968	252,332	1,272	253,605
資 産	3,397,058	362,626	42,543	30,593	3,832,822	△108,381	3,724,441
減価償却費	177,493	4,339	384	3,378	185,594	89	185,684
資本的支出	151,038	5,846	296	3,490	160,672	154	160,826

JFEホールディングス 財務諸表(単独)

●貸借対照表(要旨)

(平成16年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	152,427	流動負債	2,326
現金及び預金	14,981	固定負債	250,000
営業未収入金	572	社 債	90,000
短期貸付金	131,190	長期借入金	160,000
その他	5,682	負債合計	252,326
固定資産	952,437	(資本の部)	
有形固定資産	107	資本金	100,000
無形固定資産	122	資本剰余金	725,537
投資その他の資産	952,208	資本準備金	725,458
関係会社株式及び出資金	824,445	その他資本剰余金	79
長期貸付金	127,542	利益剰余金	28,584
その他	220	当期末処分利益	28,584
繰延資産	90	自己株式	△ 1,493
		資本合計	852,628
資産合計	1,104,955	負債及び資本合計	1,104,955

●損益計算書(要旨)

(自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日)

科 目	金 額
(経常損益の部)	百万円
営業損益の部	
営業収益	30,383
営業費用	6,267
営業利益	24,116
営業外損益の部	
営業外収益	11
営業外費用	30
経常利益	24,097
(特別損益の部)	
特別利益	29
税引前当期純利益	24,127
法人税、住民税及び事業税	8
法人税等調整額(益)	723
当期純利益	24,842
前期繰越利益	3,742
当期末処分利益	28,584

●利益処分

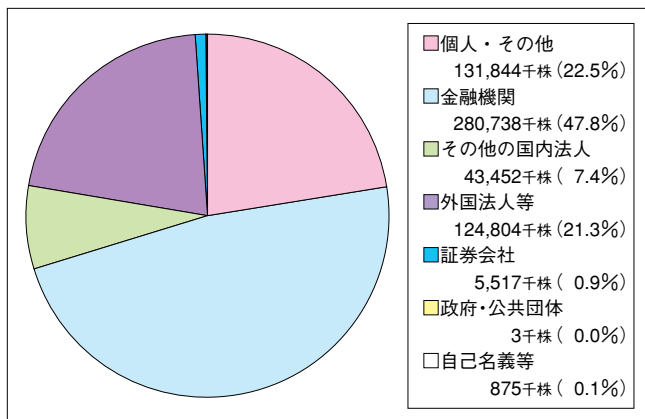
科 目	金 額
(当期末処分利益の処分)	円
当期末処分利益	28,584,356,040
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	17,592,598,950
1株につき30円	
次期繰越利益	10,991,757,090
(その他資本剰余金の処分)	円
その他資本剰余金	79,287,749
これを次のとおり処分いたします。	
その他資本剰余金次期繰越額	79,287,749

株式の状況 (平成16年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	2,298,000,000株
発行済株式総数	587,235,278株
株主数	410,823名

(注) 発行済株式総数は、東京シャリング株式会社、川鉄銅板株式会社、JFE工建株式会社およびエルエスフエンス株式会社との株式交換に伴う新株の発行により、前期末に比し12,502,227株増加いたしております。

●所有者別分布状況



●大株主

株主名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	62,532	11.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	57,366	10.1
日本生命保険相互会社	22,638	4.0
資産管理サービス信託銀行株式会社	18,776	3.3
第一生命保険相互会社	15,949	2.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	13,384	2.4
東京海上火災保険株式会社	9,976	1.8
株式会社みずほコーポレート銀行	9,721	1.7
株式会社損害保険ジャパン	8,419	1.5
明治安田生命保険相互会社	7,850	1.4

JFEグループ事業会社の状況

1. JFEスチール株式会社

(1) 会社概要

- 代表取締役社長：数土 文夫
- 本店所在地：東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
- 資本金：2,396億円
- 連結売上高：2兆1,039億円
- 連結営業利益：2,427億円
- 従業員数（単独）：14,272名

(2) 事業内容

鉄鋼製品の製造・販売

(3) 生産拠点

東日本製鉄所（千葉地区・京浜地区）、西日本製鉄所（倉敷地区・福山地区）、知多製造所

(4) 主要な子会社等（◎：連結子会社、○：持分法適用会社）

資源・原材料

- ◎ 川鉄鉱業(株)
- ◎ 水島合金鉄(株)
- ◎ JFE炉材(株)
- ◎ 鋼管鉱業(株)
- ◎ JFE精密(株)

鋼材加工・加工製品

- ◎ JFE鋼管(株)
- ◎ JFE鋼板(株)
- ◎ JFE建材(株)
- ◎ JFEコンテナ(株)
- ◎ JFE継手(株)
- ◎ リバースチール(株)
- ◎ タイ・コーテッド・スチール・シート・カンパニー・リミテッド
- 日本鑄造(株)
- カリフォルニア・スチール・インダストリーズ・インク
- タイ・コールド・ロール・スチール・シート・パブリック・カンパニー・リミテッド

設備・工事

- ◎ JFEシビル(株)
- ◎ JFEメカニカル(株)
- ◎ JFE電制(株)

電力・用役

- 福山共同火力(株)
- 水島共同火力(株)
- (株)JFEサンソセンター

電炉・条鋼

- ◎ エヌケーケー条鋼(株)
- ◎ ダイワスチール(株)
- ◎ 豊平製鋼(株)
- ◎ 東北スチール(株)

鉄構・仮設

- ◎ 川鉄橋梁鉄構(株)
- 川商ジェコス(株)

情報システム

- ◎ 川鉄情報システム(株)
- (株)エクサ

流通加工

- ◎ 東京シャリング(株)
- ◎ 川鉄鋼材工業(株)

化学

- ◎ JFEケミカル(株)

環境リサイクル

- ◎ JFE環境(株)

サービス一般・管財

- ◎ JFEライフ(株)

物流・作業

- ◎ JFE物流(株)

商社

- ◎ エヌケーケートレーディング(株)
- 川鉄商事(株)

(5) 連結財務諸表

●連結貸借対照表(要旨)

(平成16年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	929,262	流動負債	1,168,765
現金及び預金	40,581	支払手形及び買掛金	348,687
受取手形及び売掛金	305,099	短期借入金	473,522
棚卸資産	393,962	一年内償還社債	70,500
繰延税金資産	29,039	その他	276,055
その他	162,425	固定負債	1,583,216
貸倒引当金	△ 1,846	社債	391,000
固定資産	2,467,791	長期借入金	921,518
有形固定資産	1,946,597	退職給付引当金	107,620
建物及び構築物	510,188	特別修繕引当金	51,002
機械装置及び運搬具	814,953	その他	112,075
土地	570,498	負債合計	2,751,982
建設仮勘定	33,981	(少数株主持分)	
その他	16,975	少数株主持分	32,585
無形固定資産	56,345	(資本の部)	
投資その他の資産	464,848	資本金	239,644
投資有価証券	298,996	資本剰余金	383,146
繰延税金資産	70,558	利益剰余金	△ 770
その他	112,927	土地再評価差額金	16,273
貸倒引当金	△ 17,634	其他有価証券評価差額金	26,666
繰延資産	5	為替換算調整勘定	△ 52,469
資産合計	3,397,058	資本合計	612,490
		負債、少数株主持分及び資本合計	3,397,058

●連結損益計算書(要旨)

(自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日)

科 目	金 額
(経常損益の部)	百万円
営業損益の部	
売上高	2,103,921
営業費用	1,861,201
営業利益	242,720
営業外損益の部	
営業外収益	43,170
営業外費用	77,377
経常利益	208,512
(特別損益の部)	
特別利益	2,884
特別損失	32,893
税金等調整前当期純利益	178,503
法人税、住民税及び事業税	20,972
法人税等調整額(損)	55,502
少数株主利益	2,276
当期純利益	99,751

2.JFEエンジニアリング株式会社

(1) 会社概要

- 代表取締役社長：土手 重治
- 本店所在地：東京都千代田区丸の内一丁目1番2号
- 資本金：100億円
- 連結売上高：3,394億円
- 連結営業利益：31億円
- 従業員数（単独）：2,292名

(2) 事業内容

エンジニアリング事業（エネルギー関連分野、環境関連分野、製鉄技術に関する分野、鋼構造分野、産業機械分野）

(3) 生産拠点

鶴見事業所、津製作所、清水製作所

(4) 主要な子会社等（◎：連結子会社、○：持分法適用会社）

- ◎ JFE工建(株)
- ◎ JFEプラント&サービス(株)
- ユニバーサル造船(株)
- 日本鑄鉄管(株)
- スチールブランテック(株)

(5) 連結財務諸表

●連結貸借対照表(要旨)

(平成16年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	247,259	流動負債	219,146
現金及び預金	12,096	支払手形・工事未払金等	122,155
預 け 金	3,139	短期借入金	43,567
受取手形・完成工事未収入金等	141,636	未 払 費 用	13,754
親 会 社 株 式	12,543	未 成 工 事 受 入 金	27,488
未成工事支出金等	52,129	引 当 金	2,590
短期貸付金	13,948	そ の 他	9,590
繰延税金資産	2,690	固定負債	49,042
そ の 他	9,405	長期借入金	26,624
貸倒引当金	△ 330	退職給付引当金	21,590
固定資産	115,366	そ の 他 引 当 金	650
有形固定資産	39,998	そ の 他	176
建物及び構築物	18,561	負債合計	268,188
機械装置及び運搬具	8,148		
土 地	10,967	(少数株主持分)	
建設仮勘定	1,003	少数株主持分	1,491
そ の 他	1,317		
無形固定資産	3,314	(資本の部)	
投資その他の資産	72,054	資 本 金	10,000
投資有価証券	55,224	資本剰余金	40,751
繰延税金資産	5,743	利益剰余金	25,484
そ の 他	16,019	その他有価証券評価差額金	16,520
貸倒引当金	△ 4,933	為替換算調整勘定	189
		資 本 合 計	92,945
資産合計	362,626	負債、少数株主持分及び資本合計	362,626

科 目	金 額
(経常損益の部)	百万円
営業損益の部	
完成工事高	339,445
営業費用	336,297
営業利益	3,147
営業外損益の部	
営業外収益	7,152
営業外費用	4,854
経常利益	5,446
(特別損益の部)	
特別利益	1,616
特別損失	4,207
税金等調整前当期純利益	2,855
法人税、住民税及び事業税	1,215
法人税等調整額(益)	420
少数株主利益	134
当期純利益	1,925

3.JFE都市開発株式会社

(1) 会社概要

- 代表取締役社長：重見 憲明
- 本店所在地：東京都千代田区丸の内一丁目1番2号
- 資本金：30億円 ● 連結営業利益：14億円
- 連結売上高：262億円 ● 従業員数(単独)：58名

(2) 事業内容

都市開発事業(大規模複合開発、マンション分譲、資産活用)

4.川崎マイクロエレクトロニクス株式会社

(1) 会社概要

- 代表取締役社長：平野 征
- 本店所在地：千葉市美浜区中瀬一丁目3番地
- 資本金：50億円 ● 連結営業利益：49億円
- 連結売上高：404億円 ● 従業員数(単独)：488名

(2) 事業内容

半導体集積回路の設計・製造・販売

(3) 生産拠点

宇都宮工場

5.JFE技研株式会社

(1) 会社概要

- 代表取締役社長：北田 豊文
- 本店所在地：川崎市川崎区南渡田1番1号
- 資本金：1,000万円 ● 従業員数(単独)：93名

(2) 事業内容

鉄鋼事業、エンジニアリング事業に共通する中核技術ならびに成長分野プロジェクトの研究開発

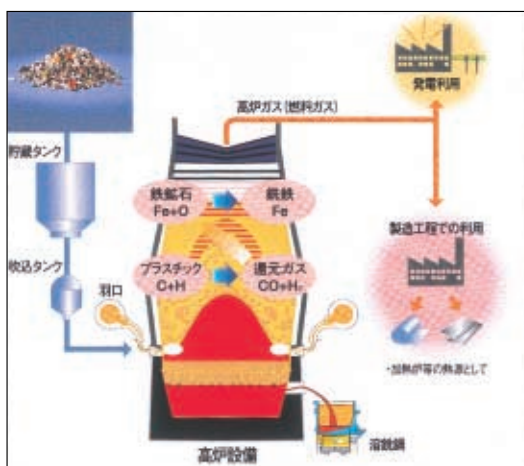
4年連続で大河内記念賞受賞

JFEスチール株式会社は、かねてより開発・実用化に取り組んできました「高炉におけるプラスチック再資源化技術の確立」について、本年3月大河内記念生産賞を受賞いたしました。

本技術は、造粒した使用済みプラスチックをコークスの代替として、高炉に吹き込み、鉄鉱石の還元を利用するものです。使用済みプラスチックを利用することで、コークスの節減、廃棄物の有効活用、炭酸ガス削減等の効果が得られます。今回の受賞は、本技術の独創性とその大きな社会的効果が評価されたものです。

同社は、平成8年10月に世界で初めて使用済みプラスチックの高炉リサイクル一環システムを完成させ、平成12年に完全施行された容器包装リサイクル法におけるリサイクル主要技術として、同法のスムーズな立上げに大きく貢献したことからも、本技術の持つ工業的および社会的意義は極めて大きいといえます。

大河内賞は、今年度の受賞を含め、4年連続での受賞となり、同社の持つ優れた技術力が高く評価されることとなりました。JFEグループは今後も「世界最高の技術」をもって社会に貢献していくとともに、さらなる先進的な技術の開発を進めてまいります。



(フロー図)

高炉の火入れ

JFEスチール株式会社は、このたび西日本製鉄所および東日本製鉄所において、それぞれ高炉の改修工事を完了し火入れを行ないました。

改修工事に際しましては、装入原料の分布制御性の向上を図るため、原料装入装置をベル式からベルレス式に更新するとともに、従来以上の長寿命化を目指し、炉体冷却設備の強化、炉底部分への高耐食性レンガの採用など炉寿命延長対策を行ないました。

1. 西日本製鉄所倉敷地区第2高炉(火入れ：平成15年11月13日)

- (1) 改修費用：約195億円
- (2) 炉容積：4,100 m^3 (改修前2,857 m^3)
- (3) 主な特徴：超短期改修工法である「大ブロックリング工法」を採用することにより、同規模高炉の一般的な改修期間(約120日)と比較して大幅な工期短縮を図り、高炉の基礎増強工事・環状管全面更新を実施しつつ75日間での改修を実現いたしました。「大ブロックリング工法」は、平成10年の東日本製鉄所千葉地区第6高炉2次改修、平成13年の西日本製鉄所倉敷地区第4高炉3次改修に引き続き、今回が3例目となります。

2. 東日本製鉄所京浜地区第2高炉(火入れ：平成16年3月24日)

- (1) 改修費用：約230億円
- (2) 炉容積：5,000 m^3 (改修前4,052 m^3)
- (3) 主な特徴：原料捲下設備、熱風炉、ガス清浄設備および動力設備については既設設備を復旧し、また、第1高炉から炉頂圧発電設備等の合理化をも目的とした設備を移設いたしました。(今回の火入れに伴い、第1高炉は休止)



(倉敷地区第2高炉)



(京浜地区第2高炉)

30万トン型 新大型鉱石専用船

JFEスチール株式会社は、ユニバーサル造船株式会社が新たに開発し、建造する大型鉱石専用船（平成20年竣工予定）2隻を長期傭船することを決定いたしました。

両社は共同で、フィリピン・シンター・コーポレーション（JFEスチール100%子会社の焼結鉱生産会社、）の深い水深を最大限に活用できる大型専用船の検討を進めてまいりましたが、本船は30万トン級の超大型船ながら、全長・全幅を押えることにより、ブラジルのみならず鉄鉱石のメインソースである豪州や南アフリカの主要積出港にも支障なく入港できるなど、高い汎用性を確保しております。また、最新技術の適用による積載性能・推進性能の向上も実現しており、鉄鉱石の安全かつ効率的な輸送に貢献するものと期待されます。

JFEスチールでは、各製鉄所・地区の港湾条件に合わせた最適な船型の導入を進めており、上記の施策も含め、原料輸送船腹の安定確保と競争力強化に引き続き努めてまいります。



(完成予想図)

美原大橋の竣工

JFEエンジニアリング株式会社は、平成13年9月に北海道開発局より受注した美原大橋の施工をしてまいりましたが、昨年2月に竣工いたしました。石狩川を跨ぐ本橋は一面吊鋼斜張橋としては世界第8位の中央径間長を誇ります。同社は中央径間部分の主桁製作・架設とケーブル32本の架設工事を駒井鉄工株式会社、株式会社サクラダとのジョイントベンチャーにて施工いたしました。

- ・橋 長：648m
- ・主塔高：80m
- ・幅 員：28.8m



大型風力発電機の稼動

JFEエンジニアリング株式会社は、佐賀県東松浦郡に単機としては国内最大級（最大出力1,980kW、全長100メートル）となる風力発電機を建設してまいりましたが、同発電機が本年3月より本格稼動を開始いたしました。年間発電量につきましては355万kWhを見込んでおりますが、これは一般家庭700世帯分の年間電力使用量に相当いたします。今後、この大型風力発電機の販売を本格化し、ウインドファームと呼ばれる大型発電所への営業を強化してまいります。



横浜山の内開発プロジェクト

JFE都市開発株式会社は、横浜市の浅野ドック跡地を中心とした約7haに渡るシーサイドエリアに、商業施設・オフィス・住宅ゾーンを整備する複合開発事業（横浜山の内開発プロジェクト）に取り組んでおります。本年6月には、三菱地所株式会社、野村不動産株式会社と共同で第1期住宅事業にあたるタワー型免震マンション4棟の建設に着工いたしました。今後、商業施設等の建設事業を順次展開してまいります。



(完成予想図)

●株式事務のご案内

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月に開催
定時株主総会および利益配当の基準日	3月31日
中 間 配 当 基 準 日	9月30日
臨 時 基 準 日	必要ある場合にあらかじめ公告のうえ設定
1 単 元 の 株 式 の 数	100株
手 数 料 等	①株券再発行等の手数料 印紙税相当額 ②単元未満株式の買取および買増手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額 ③上記①、②の手数料の消費税等相当額 手数料に加算
名 義 書 換 代 理 人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 〒103-8670 みずほ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(5213)5213 (代表)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社本店および全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
証 券 コ ー ド	5411

- ◆ 当社は、インターネットにホームページを開設し、最新の企業情報を幅広く提供しております。アドレスは <http://www.jfe-holdings.co.jp/> となっておりますので、どうぞご利用下さい。
- ◆ 当社は決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書をホームページに掲載しております。
アドレス：<http://www.jfe-holdings.co.jp/kessan/index.html>
- ◆ みずほ信託銀行株式会社の専用ホームページでは、名義書換、住所変更等の届出用紙をご請求いただくことができますので、ご活用下さい。
アドレス：<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>